

大阪変成器 Hermes 並三ラジオ



1930年頃、放送協会はエリミネータ(交流)式に真空管227-112A-112Bの並三や鉱石検波器+201Aのフレックス・ラジオを推奨したが、感度が悪過ぎて普及していませんでした。本Hermesもそのような初期の並三ラジオで、昭和1年に130円で購入した旨が裏ブタに記載されているが、1926年(昭和1年)にはエリミネータ式は普及していないことから考えると、記載間違いの可能性がります。

並四ラジオの大阪変成器 Hermesは数多く存在しますが、並三ラジオのHermesはほとんど見かけないので、歴史的に貴重なラジオと言えます。

